



世界へのプレゼントになろう



守口ロータリークラブ 週報 No. 9



基本的教育と識字率向上月間

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. 見上げてごらん夜の星を 2. スター・ダスト 3. 星におがいを

本日例会 2015年09月16日(水)
(第2641回)

「守口市新庁舎見学」
松尾 安彦 会員
担当：職業奉仕委員会

次回例会 2015年09月30日(水)
(第2642回)

「調整中」
担当：社会奉仕委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
09月09日	25 (内免除者2名)	12	69.44%【会員38名】
08月26日	31 (内免除者2名)	メークアップ3名	(75.68%)



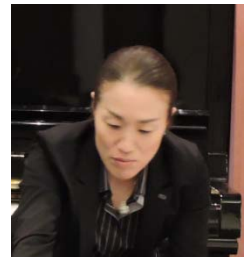
前回例会 (2640回) 9/9の主な内容



2015～2016年度ガバナー公式訪問

◎ゲストご紹介

国際ロータリー2660地区ガバナー
立野 純三様 (大阪RC)
荒木 恵美様 (立野ガバナー秘書)



◎ 幹事報告 (幹事 廣瀬 彰久)

理事会の報告

- 1、西原会員、出席規定免除申請の件・・・承認
- 2、守口宿ジャズストリート後援名義申請の件・・・承認



■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

(会長 川村 弘和)

卓 話

国際ロータリー
2660地区ガバナー
立野 純三 様



本日は、国際ロータリー2660地区ガバナー立野純三様にお越しいただいております。大変お忙しいところご訪問ありがとうございます。

今日は、「水と格言と人生」(3)「水魚の交わり」。

水と魚は切り離すことができません。魚は水の中でしか生きることができないのです。「水魚の交わり」とは切っても切れない人間関係を表す言葉です。信頼の固い絆で結ばれた友人関係、師と弟子の関係、主従の関係などを示す言葉として使われてきました。

中国「三国時代」蜀(シヨク)の劉備が、名参謀諸葛孔明との関係を語った言葉が「水魚の交わり」でした。これが日本でよく使われているこの言葉の出处です。

「三国誌」は劉備と諸葛孔明、関羽と張飛などの真の勇者の交流と戦いの記録です。「水魚の交わり」のところに、劉備と孔明の信頼があまりにも厚いため、最古参の関羽と張飛が2人の関係を悦ばず、苦情をいいました。そこで、劉備は関羽と張飛に対し「私にとって孔明は、あたかも魚にとっての水のようなもので、絶対に離れない関係だ。どうか孔明との関係についてとやかく言わないでくれ」と頼んだのです。

人生において「水魚の交わり」のような関係の友人や師を持つことは非常に大きな意味のあることです。信頼し合っている夫婦の関係も水魚の交わりだとおもいます。(いや、私のところは金魚の糞であります)私の70年間の人生を振り返って思うことは「水魚の交わり」の師や友人や親兄弟、妻がいたからこそ、今まで無事に生きて来ることが出来たのです。

「水魚の交わり」の関係の師や友人や家族の存在によって人間は充実した人生を歩むことが出来るのです。私でも水魚の交わりと思う人は、十人程度はいます。皆様には、もっと多くの方がおられると思います。今でも「水魚の交わり」の友人が増え続けています。これらの人々によって私の70年の人生は支えられて来たのです。ただただ感謝のみです



皆さん、こんにちは。2660地区本年度ガバナーを仰せつかっております立野です。よろしくお願い致します。

守口ロータリークラブには、日頃何かと地区の事業運営に対してご協力をいただき、有難うございます。また、石谷さんには米山奨学委員会にご出向いただき、ご活躍をいただきありがとうございます。

(～本文続きは、次ページに掲載～)



◆◆◆委員会報告◆◆◆

職業奉仕委員会 (中道委員)

守口市役所新庁舎見学

日 時: 9月16日(水) 13:15

集合場所: 新庁舎正面玄関前



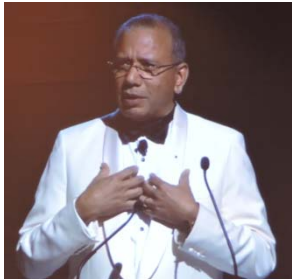
ニコニコBOX S・A・A

- 石井 会員 ワールドカップ、各種スポーツでの日本選手の活躍振りを喜んで。
- 石橋 会員 立野ガバナーのご来訪を喜んで。
- 難壇 一同 立野ガバナーをお迎えして!!!

09/09 ニコニコBOX 260,000円

卓 話 (～前ページからの続き～)

まず、最初にこの1月にアメリカ サンディエゴで開催されました国際協会の初日の晩餐会で、ラビンドランR I会長が熱い思いで話されました本年度R I会長テーマを5分程度にまとめました映像をご覧ください、その後私が本年度方針の中で7つの重点項目を掲げておりますが、その中から守口ロータリーでクラブご参考になればと思う項目をお話させていただきます。最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧ください。



皆さん、今ラビンドランR I会長が熱い思いで語られているビデオを見ていただきましたが、どの様に感じられたでしょうか。私はサンディエゴで、お話をお聞きした時は、本当に感動し、共感致しました。本年度のR Iテーマは『世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world』2660地区の方針は『変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！』です。

守口ロータリークラブ 川村会長は、本年度の方針を「地域の友好と奉仕(プレゼント)の楽しさを享受しよう」とされ、この方針のもとに3項目を掲げておられます。

- 1、奉仕事業は、人的にも財政的にもクラブの基盤がしっかりしなければならない。その為にも会員増強と維持が大切である。
- 2、戦略計画委員会の発足。中長期的にクラブの在り方を議論し、実行し魅力あるクラブに変化するように次年度に提言する。
- 3、地区行事や奉仕プロジェクトに多くの会員の参加を促す。

とされています。

既に守口ロータリーは、川村会長の方針を受けて各委員会が一年間の計画を立て、動き出しておられます。ここで私が皆さんに何かを要望するものでもありませんし、ロータリーは、あくまでもクラブが主体であり、クラブ独自でいかに活性化をして、楽しく魅力あるクラブライフを作り上げていくかだと思います。

ここで、少し戦略計画委員会に対する私の考えをお話させていただきますが、これはあくまでも参考ということでお聞きいただければ結構です。ロータリーはあくまで各クラブが主体です。皆さんそれぞれが新入社員として入社したかった会社、入社を目指した会社を思い出していただきたいと思えます。新入社員として入りたくなる会社とは、私の考えでは、「会社に魅力がある」「堅実に成長している」「業界で光っているオンリーワン企業である」「仕事が楽しそう」「給料がいい」等、様々な理由があると思うのです。いま、私達のロータリークラブは、他の団体よりも新入会員を引き付けるだけの大きな魅力があるでしょうか。そこで、私は各クラブに戦略計画委員会を立ち上げていただき、中長期ベースで魅力があり、活力があふれ、楽しいクラブライフを過ごせるクラブになるために、どのような計画を立て実行していくかを考えていただきたいと思っています。ロータリーは単年度制です。毎年R I会長テーマ、地区ガバナー方針、クラブ方針が、その年ごとに変わり継続性がありません。



もちろん、各クラブによって問題点になる重点テーマが異なると思います。十分に検討をしていただいてクラブにとって最も優先すべきテーマを見つけ出し、年ごとに達成度をチェックしながら、決めたテーマを達成させる事によって、内部からみても楽しく活力があり、外部から見ても魅力のある素晴らしいクラブにしていく必要があると思います。ここで会員増強を重要テーマとすると、私は、入会を促進する取り組みにおいて重要となるのは、ロータリーのDNAを大切に考えることだと思います。DNAは決して変わらないロータリーに対する価値観、優先事項(出席率、財団寄付等)奉仕への献身を絶対に忘れないことだと思います。また、ロータリーの設立の目的を大切にすることでもあります。時代に即するために妥協してしまい、大切なロータリーのDNAをあっさり捨ててしまうと組織は長続きしません。変えてはならない所を変えてしまい、信じる土台がなくなれば組織の存在価値はなくなります。一方、時代背景の変化と共に変えなければならないところは、勇気をもって変えなければならないと思います。イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンは、この様に言っています。「生き残るのは強者でも賢者でもなく、最も変化に適応できる者だ」と。これは生き物の世界だけではなく、組織にも当てはまると思います。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンは『理想を失うときに初めて老いが来る』と言っています。変革や革新は、年齢に関係なく、フレッシュな視点を持った人から生まれるものであり、こうした人こそクラブにとって最も貴重な資産だと思います。あるロータリーの小冊子に書かれていた文章ですが『ロータリーの目的は有益な事業の基礎として奉仕の理想を 鼓吹し、これを育成することにある。ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。』

どんな職業でも仕事でも、たいがい他人の役に立っています。他人の役に立たないようなものは有益な職業ではありません。』と書かれていました。

卓 話

(～前ページからの続き～)

また、ラビンドランRI会長が先程のスピーチの中でも言っておりましたが、『当組織を形づくった基礎に立ち返る方法を見つける必要がある。それは人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして各クラブの会員の多様性をもたらす職業分類です。しかしこれらは会員増強の足を引っさる障害にすぎないとみられている。しかし、これらはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば自らの存在を危うくする』と言っています。守口ロータリーが内外からみて魅力があり、活気があり楽しければ、おのずと人が集まってくると思います。会員の増強と質を維持するのは相反する部分があり両立するのは難しいことですが、川村会長がおっしゃっておられる様に、会員同士が親睦を深め、内容の濃い奉仕活動に努めれば、必ず素晴らしい結果が得られると思います。そして守口ロータリーの会員の皆さんが、楽しく爽やかなクラブライフを過ごされるのではないのでしょうか。

守口ロータリーは、社会奉仕委員会で「薬物乱用防止教室」、国際奉仕委員会では、フィリピン、マニラのスラム街での人道的奉仕活動、職業奉仕委員会では「お琴の出前授業」等各種の奉仕活動に積極的に取り組んでおられ、グローバル補助金、地区補助金を上手に活用されておられます。すでに何度かお話をしておりますが、私の国際奉仕の原点を少しお話をさせて頂きたいと思っております。私は大阪青年会議所時代に国際婦人福祉連盟の有志の方々のご協力、世界的NGO団体のセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立に携わり、18年間この団体の理事長を務めさせて頂きました。セーブ・ザ・チルドレンと申しましてもご存じでない方も多いと思っておりますので、簡単に概略をご説明させて頂きます。

1914年 第一次世界大戦で両親や家を失ったヨーロッパの悲惨な状況下の子供達をみかねたイギリスのエグランタイン・ジョブ女史が、これらの恵まれない子供達を援助することを目的として始めた団体です。ヨーロッパやアメリカでは有名な団体で信頼されています。なぜ私が18年間もこの団体で活動出来たのかと申しますと、最初にフィリピン・ギマラス島にお金の寄付をして村中の人と一緒に小学校を建設しました。その小学校の竣工式に出席をした時に、村中の人達から熱烈な歓迎を受けた事と、何よりもその学校を使用する子供達が素晴らしい笑顔で迎えてくれた事、その時の感動が忘れられない事とまた子供達の素敵な笑顔が見たいという思いが、セーブ・ザ・チルドレンの活動を続けていく事になった一番の要因でした。まさに「百聞は一見にしかず」、現地に行き、現状を知ることが大切だと思えました。守口ロータリーの皆さんも、今迄ロータリー財団に多くの寄付をされていると思いますが、全てグローバル補助金、地区補助金等として、海外の医療関係の改善、子供達の栄養改善、教育環境の改善、震災復興への取り組み等に活用されています。ぜひ守口ロータリーが取組んでおられる社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕に一人でも多くの方が関わりを持っていただき、活動をしていただきたいと思います。きっと爽やかな感動を味わうことが出来ると思いますし、クラブの活性化にはこの上ないミッションになることは間違いないと思います。これらの奉仕活動のエネルギー原資になるロータリー財団の寄付には、ぜひ皆様にご理解をいただき、ご協力をお願い致します。

次に、会員研修についてお話をさせていただきます。

守口ロータリーのクラブ研修委員会は、「会員に守口ロータリークラブの理念を伝達していく」と本年度の方針に掲げておられます。

大阪ロータリーは、新入会員が入会する時に、情報委員会でロータリーに対する心構えやロータリーとは何かを一通り説明をしますが、その後は例会や奉仕の場で先輩ロータリアンが指導をしています。すなわちOJTでロータリーを学んでいきます。

これは、うまい例えではないかもしれませんが、現在、日本で最も注目されているトップアスリートと言え、テニスの錦織 圭選手だと思います。彼の急激な成長を促したのが、昨年からコーチ陣に加わったマイケル・チャンの力です。彼は錦織選手の元来の素質を開花させ、世界のトッププレイヤーの一員に引き上げた手腕は誰もが認める所です。マイケル・チャンの役目をするのが、守口ロータリーのクラブ研修委員会ではないかと思っております。新しく入って来られた会員の方に、「鉄は熱いうちに打て」のことわざの通り、早い時期にクラブに慣れて頂く為に、ロータリーとは何か、ロータリーの魅力や楽しさを理解してもらい、あるいは中堅・ベテラン会員の方々にも、もう一度ロータリー精神、守口ロータリーの理念を再確認してもらい、研修を行われることは必要だと思っております。この点において何かお困りのことがあるようでしたらぜひ地区研修委員会にご相談をいただければと思います。

最後に、もう一つのお願いがITです。

RIは大きく変わり、ITを活用しなければなりません。RIに対する要望や申請などは、全てITを利用しなければなりません。マイ・ロータリーに自らが登録していただく必要があり、登録をしていただくと、ウェブサイトから、自クラブの活動内容が確認出来たり、会員コーナーでは、「元気なクラブ作りのために」や「会員増強ガイド」など、充実したクラブづくりに役立つさまざまなリソースをダウンロードできます。ロータリー・クラブ・セントラルやその他オンライン・ツールを利用して、RIの内容やロータリーの動きが理解でき、きっとロータリー活動が楽しくなると思います。私もそうですが、皆さんの中にも、ITを扱うのが厳しい年齢の方もおられると思いますが、ぜひトライして下さい。この7月1日から、ロータリーメンバーには新しい会員プログラム「ロータリー・グローバル・リワード」が始まりました。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から利用できる新しいプログラムです。このプログラムを利用すれば、世界各地でレンタカー、ホテル、レストラン等の割引を受けることが出来ます。ただし、割引を利用できるのは、繰り返しですが、マイ・ロータリーに登録した会員のみとなりますので、ぜひ登録をして活用して下さい。もしわからないことがあれば、地区広報委員会に問い合わせをいただければ、ご説明をさせていただきます。

それでは最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧ください。

今回は従来の地区大会と違って、少し変則的な開催となります。

一日目は、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から始まり、晩餐会はリーガロイヤルホテルの宮川シェフが特別に大阪産の旬の食材を使いおもてなしをさせていただきます。

二日目は、11時から世界的に活躍する若きアーティストのヴァイオリニスト庄司 紗矢香さんとピアニスト 小菅 優さんの「夢のデュオ・コンサート」が開催されます。ぜひロータリアンの皆さんをはじめ、お子さん、お孫さん、ロータリーアクト、インターアクト、ご友人の方々、多くの方に素晴らしい演奏をお聞き頂きたいと思っております。

メインの特別シンポジウムは“究極の職業奉仕”「関西発のイノベーションー最先端研究から創業へ」のタイトルで、大阪大学 岸本名誉教授、京都大学 本庶名誉教授、お二人による基調講演を開催致します。どうか、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に、守口ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念しまして、公式訪問を終わらせていただきます。有難うございました。